

## V 今後の見通し

- 歳入では、県税収入が、企業業績の回復傾向が続いていることなどから、現計予算と比べ150億円程度、臨時財政対策債を含む実質的な地方交付税については、7月の国の算定結果により29億円、それぞれ増収となる見込みです。
- 一方、歳出については、介護保険の負担金などの社会保障費や退職手当などで約30億円、増収に伴う税関係交付金で約20億円の追加財政需要が生じる見込みです。
- このため、年間収支は約130億円程度好転する見通しですが、この財源は、当初予算で計上済みの退職手当債125億円の減額などに活用してまいりたいと考えています。

### <今後の見込み>

[歳入]	約180億円
・普通交付税・臨時財政対策債	約29億円
・県税収入	約151億円

[歳出]	約51億円
・追加財政需要（社会保障費等）	約30億円
・税関係交付金（県税収入と連動）	約21億円

[収支見込み]	約129億円
---------	--------



退職手当債125億円の減額などに活用